



KYT KX-1 RACE

User Manual

取扱説明書



このたびは KYT ヘルメットをお買い求めいただき、誠にありがとうございます

警告！安全のために、本取扱説明書を最後までお読みいただき、記載事項およびすべての警告ラベルの重要性について十分に理解してください。

ヘルメットをご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みください。本取扱説明書には、お客様の安全とヘルメットの製品寿命に関わる非常に重要な事項が記載されています。KYT のヘルメットは、ライダーにとって最大限の安全性が確保されるよう最先端の技術に基づいて考案、設計、製造されています。ただし、本ヘルメットはオートバイ専用に製作されており、これ以外の目的やスポーツに使用された場合には十分な保護が得られない場合があります。ヘルメットは、特に強い衝撃を伴う事故の場合に、致命傷を負う危険性を完全に回避できるものではありません。ヘルメットの色が特に黄色やオレンジ、赤、緑などの蛍光色の場合は、ヘルメットを強い光源にさらさないでください。この類の色は耐光性が非常に低いため、退色する可能性があります。

ヘルメットは、製品が購入された国において有効な規格に準拠しています。

ご使用上の注意事項

- A.** ヘルメットはあらゆる事故から着用者を保護できるものではありません。ヘルメットの保護能力には限界があります。事故の状況によっては大きな衝撃が発生し、ヘルメットがそのエネルギーをある程度吸収したとしても、着用者の負傷が免れない場合があります。たとえ最高品質のヘルメットであっても、すべての衝撃から頭部を守ることは不可能です。
- B.** ヘルメットは、あごひもをしっかりと締めて着用するように設計されています。スカーフやネックガードは着用しないでください。衝突時にあごひもが抜けてヘルメットが脱落するおそれがあります。
- C.** 制作者が推奨していない場合は、いかなる要素も貼り付けたり接着したりしないでください。
- D.** シェルを切断したり、穴を開けたりしないでください。
- E.** ヘルメットには、衝撃を受けた際に、コンポーネント（主に外部のシェルと内部のポリスチレン）の一部を破壊するか、または変形させることで着用者の頭部にかかる応力を低減するという役割があります。衝撃によって発生したエネルギーの一部をこれらのコンポーネントが吸収することで、着用者の頭部にかかる振動や応力を低減し、怪我の危険を排除または軽減します。
- F.** ヘルメットが最高の機能を発揮するには、インナーライナーが不可欠です。シェルとインナーがともに完全な状態であることで、最大限の安全性能が確保されます。
- G.** ヘルメットは、外観からは分からなくても、塗料やステッカー、ガソリン、クリーナーなどの使用によって損傷している場合があります。
- H.** 激しい衝撃を受けたヘルメットは、たとえ外観に損傷が見られない場合であっても継続して使用しないでください。ヘルメットが損傷した場合は交換する必要があります。
- I.** KX-1 Race はイヤホンや類似のデバイスを装着した状態で使用するよう設計されていません。

安全上の警告！

1. 新しいヘルメットをご使用になる前に、本説明書をよく読んで記載事項を必ず守ってください

このヘルメットは、使用されているさまざまな素材の衝撃吸収能力により、衝撃を受けた際に着用者の頭部を守るように考案および製造されています。



JA

2. 衝撃を受けたヘルメットは絶対に再使用しないでください

衝撃を受けたヘルメットは継続して使用しないでください。外観に損傷が見られない場合であっても、内部の素材が損傷している可能性があります。ヘルメットは、一部の部品を变形させるか、または部分的に破壊することで衝撃を吸収するように設計されています。さらなる衝撃を受けた場合に、最大限の安全性をもって着用者を保護することはできません。**警告！**中古のヘルメットを購入したり、ヘルメットを借用したりしないでください。ヘルメット内部の保護フォームは、時間が経つにつれて着用者の頭の形に馴染んできます。中古のヘルメットや借用したヘルメットは、新品のヘルメットほどの保護性能を発揮しません。



3. 適切に着用してください

警告！安全のために、自分に合ったサイズのヘルメットを慎重に選択することが非常に重要です。ヘルメットのサイズを選択する際は、正規ディーラーにアドバイスを求めてください。適切なヘルメットサイズを確認するには、以下の手順に従ってください。頭の大きさに対して小さすぎる、または大きすぎるヘルメットは絶対に使用しないでください。



警告！サイズが合わないヘルメットを着用すると、事故の際に重傷や死亡につながる危険性が高まります。ヘルメットが大きすぎると、事故の際に脱げたり、弾き飛ばされたりするおそれがあります。

4. サイズを確認する方法

安全なヘルメットとは、自分の頭にぴったりとフィットするヘルメットをいいます。サイズを確認するには、ヘルメットを試着し、頭を前後左右に振ってみます。次に、ヘルメットを両手で動かしてみます。ずれるようであれば、サイズが大きすぎます。その場合は、1サイズ小さいものをお試しください。圧迫感や痛みがある場合には、1サイズ大きいものをお試しください。試着では、次のように「ロールオフテスト」を行う必要があります。ヘルメットを装着し、あごひもを締めて片手で抑えながら、もう一方の手で後方からヘルメットを強く引っ張ります。ヘルメットが脱げてしまうようであれば、サイズが適切ではありません。また、頭を自由に動かして、左右の視界が妨げられることがないか確認してください。無理なく呼吸できるか、またヘルメット内部の空気の流れを妨げるものがないか確認してください。

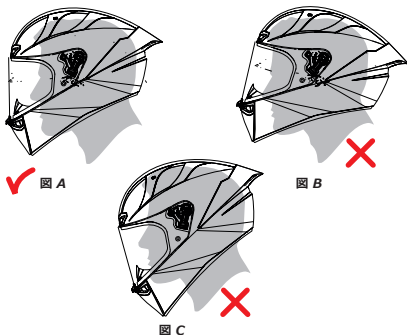


警告！ヘルメットが脱げたり、ずれて目をふさいだりする場合は、別のサイズ、または別のモデルやブランドをお試しください。上方の視界にヘルメットの縁が見えなければなりません。



5. 着用位置

ヘルメットは必ず正しい位置 (図 A) で着用してください。ヘルメットの位置が後ろすぎる (図 B) または前すぎる (図 C) 状態でヘルメットを固定しないでください。



6. バイザー (シールド)

バイザー (シールド) を清掃する際は、ぬるま湯 (可能であれば精製水) と中性洗剤を使用してください。塩素濃度の高い水の使用は避けてください。アルコール、ガソリン、その他の溶剤、アルコールを含む可能性のあるガラスクリーナーなどは使用しないでください。ヘルメットの内部を清掃する際は、バイザー (シールド) を外してから行ってください。洗浄剤が完全に蒸発してから元の位置に取り付けてください。

警告。バイザー (シールド) に傷がある場合は、特に夜間の視認性が低下するため、安全のため速やかに交換してください。色付きのバイザー (シールド) を使用するのは日中のみにしてください。濃い色のバイザー (シールド) は公認されておらず、レーストラック専用です。

保護力が低下するため、バイザー (シールド) には接着剤や粘着テープを使用しないでください。バイザー (シールド) が損傷するおそれがあります。バイザー (シールド) が曇った状態で走行しないでください。視野が悪化して事故につながり、重大な怪我や死亡の原因となるおそれがあります。

7. 清掃とメンテナンス

ヘルメットの清掃には、ぬるま湯 (熱湯は使用不可) と数滴の中性洗剤を用いて洗浄するか、専用のヘルメットクリーナーを使用してください。ヘルメットは室温で自然乾燥させ、熱源に近づけたり、ヘアドライヤーで乾かししたりしないでください。

- シェルの清掃

警告！ヘルメットは必ず認められた方法で清掃してください。認められていない薬剤や方法を用いると、ヘルメットのシェルやライニングが損傷するおそれがあります。ヘルメットが損傷すると、事故の際に重傷や死亡につながる危険性が高まります。

脱出し仕上げ：KYT では、ヘルメットの清掃に自動車用の洗浄剤や研磨剤を使用することをお勧めしています。すべてのKYTヘルメットは、自動車で使用されているものと同じベースコートやクリアコートで仕上げられています。コンパウンドは、引っかき傷やかすり傷が多数ある場合に、それらを除去するためのより入念な清掃に使用できます。

使用する製品の注意書きを必ず守ってください。コンパウンドで磨きすぎると、軽度の摩耗が生じてヘルメットの仕上げが損なわれる場合があります。また、ステッカーやデカルは剥がすと跡が残ります。剥がし跡を除去するには、アルコールを含ませた綿棒を使用してください。剥がし跡を除去したら、直ちにアルコール分を拭き取り、水と石鹸でその部分をきれいにしてください。剥がし跡の除去を試みる際は、強くこすらずに、優しくなでるように繰り返すこすってください。

艶消し仕上げ：艶消し仕上げのヘルメットには、ぬるま湯と低刺激性石鹸を使用することをお勧めします。汚れがひどい場合は処理を繰り返してください。表面に「艶が出る」可能性があるため、表面を清掃する際は、強くこすったり、コンパウンドを過度に使用したりしないでください。艶消し仕上げの外観を維持するために、以下のお手入れを行ってください。

1. ヘルメットにほこりや虫、草などが付着した場合は、その日のうちに清掃してください。

清掃手順：

- 1) ヘルメットの汚れを温水とクロスで拭き取ります。
- 2) 汚れが残った場合は、ヘルメットを乾かして、残っている汚れを消しゴムで取り除きます。

ヘルメットの清掃にはアルコールやシンナーを使用しないでください。塗装を損傷するおそれがあります。

2. オイルなどの油分が付着しないようにしてください。付着すると除去するのが極めて困難です。

- 内装の清掃

ヘルメットは3～5年での交換を推奨しておりますが、汗や湿気、汚れの蓄積により生地や縫製が劣化し、臭いの原因となる場合があります。脱着可能なKYT純正パッドを洗う際は、手洗いすることをお勧めします。生地が損傷するおそれがあるため、KYTでは内装パッドに脱水機を使用することをお勧めしません。脱着できない内装の場合、KYTでは「Helmet Fresh」などの抗菌・除菌製品を使用することを推奨します。または類似製品をご使用ください。

- ベントの清掃

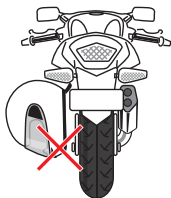
お客様のKYTヘルメットのベントにほこりやごみが入り込んでいる場合には、コンピューターのキーボード清掃用のエアダスターを使用して、ベンチレーションシステム内のごみを吹き飛ばすことができます。脱着可能なパッドをすべて取り外してからこの作業を行うことをお勧めします。

- バイザー（シールド）の清掃

ヘルメットのバイザー（シールド）は、耐摩耗性ポリウレタンコーティングを施したポリカーボネート素材で作られています。低刺激性石鹸とぬるま湯を使用して洗浄してください。熱水、塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン、その他の刺激の強い薬剤は絶対に使用しないでください。また、バイザー（シールド）の素材の品質に影響を及ぼすおそれがあるため、市販のシールドクリーナーの使用は推奨いたしません。耐摩耗性コーティングを保護するために、バイザー（シールド）を清掃する際は慎重に扱ってください。ヘルメットのバイザー（シールド）に深い傷が見られる場合は、交換することを強くお勧めします。着色バイザー（シールド）は「日中のみの使用」を目的としており、夜間や視界の悪い状況での使用には適していません。

8. 絶対に改造しないでください

ヘルメットを絶対に改造しないでください。ヘルメットのシェルを切断したり、穴を開けたりしないでください。ネジを挿入しないでください。ヘルメットを塗装しないでください。あごひもを改造しないでください。ヘルメットの緑ゴムや窓ゴムを取り外さないでください。事故が発生した場合に非常に危険です。ヘルメットの衝撃吸収能力が著しく低下するため、ポリスチレン素材を切断したり、取り外したりして、コンフォートパッドを改造しないでください。スバーパーツは純正品のみをご使用ください。ヘルメットを改造すると、事故の際に重傷や死亡につながる危険性が高まります。



9. ヘルメットは取り扱いに注意してご使用ください。車体にヘルメットをぶら下げたまま走行しないでください。

ヘルメットは非常に頑丈ですが、常に注意して取り扱う必要があります。固い物やザラザラした物にぶつかると、塗装が損傷する可能性があります。さらにはヘルメットの安全性まで損なわれるおそれがあります。絶対にヘルメットを車体に吊り下げたまま走行しないでください。塗装やバイザー（シールド）、あごひもなどが損傷するおそれがあります。また、ヘルメットはマフラーや排ガス、熱源に近づけないでください。暑い時期には、走行していない時にヘルメットが日光にさらさらないようにしてください。ヘルメットが濃色の場合は特にご注意ください。



10. ヘルメットはペットが近づける範囲に置かないでください

ヘルメットやライナーをペットが近づける範囲に置かないでください。修復不可能な損傷につながるおそれがあります。



11. ヘルメットは安全な場所に保管してください

コンフォートパッドが損傷するのを避けるため、ヘルメットをミラーやハンドルに掛けないでください。

警告！ヘルメットを不適切に保管すると損傷する可能性があり、事故の際に重傷や死亡につながる危険性が高まります。以下の点を守ってください。

- ヘルメットは涼しく湿気のない場所に保管してください。
- ヘルメットはペットやその他の動物が近づける範囲に置かないでください。
- ヘルメットは温度が 50°C を超える場所を避けて保管し、高温を発生している場所やその周辺に置かないようにしてください。
- また、ヘルメットを直射日光が当たる場所に長時間さらさないでください。塗装が徐々に退色する可能性があります。



12. ヘルメットを溶剤にさらさないでください

気化したガソリンによって劣化するおそれがあるため、ヘルメットを燃料タンクの上に長時間置いたままにしないでください。また、バイザー（シールド）、小さなプラスチック部品、コンフォートパッドの損傷を防ぐために、ヘルメットをガソリンやその他の燃料などの溶剤にさらさないでください。

13. ヘルメットを点検してください

ヘルメットを最良の状態に保ち、保護を最大限に高めるために、走行前には必ずヘルメットに損傷がないか点検してください。

- バイザー（シールド）とバイザー（シールド）ラチェットの点検：必要に応じて、バイザー（シールド）ラチェットのネジを増し締めしてください。いずれのネジも締めすぎないように注意してください。ネジを締めすぎると、プラスチック製ベースプレートが破損したり、プラスチック製のネジによってスリーブのねじ山がつぶれる可能性があります。
- ヘルメットの損傷の点検：ヘルメットに亀裂などの損傷が見られる場合は、ただちに使用を中止してください。セクション (15) の指示に従ってください。ヘルメットを落下させた場合、目に見えない損傷が生じている可能性があります。
- 部品の摩耗や損傷の点検：プラスチック部品は時間の経過とともに摩耗します。部品に摩耗や損傷が見られる場合は、それらの部品を交換するか、新しいヘルメットをご購入ください。セクション (14) の指示に従ってください。
- フェイスシールドの点検：フェイスシールドに傷や破損がある場合は、視界が妨げられるおそれがありますので、必要に応じて交換してください。オートバイを安全に運転できるよう、常に十分な視界を確保してください。

警告！走行中に部品が脱落すると、視界が妨げられ、事故の原因となるおそれがあります。

- 保持システム（あごひも）が損傷していないか点検してください。擦り切れたり、裂けたりしている場合は、ヘルメットを交換してください。
- クラウンパッドが所定の位置にあるか点検してください。

14. ヘルメットによって外部からの重要な音が吸収されたり、周囲の環境の変化に気付くにくくなることがあります

警告！ヘルメット（特に一体型）の着用時には、ある程度周囲の環境から隔離された状態となります。突然の嵐、トンネルの出入り口や峠道の走行中の気温の変化など、不意の天候の変化によりバイザー（シールド）に結露が生じて視界が悪化することがあります。バイザー（シールド）が曇った状態で走行しないでください。

ヘルメットの着用時、特に高速走行時には、周囲の交通の音が聞こえにくくなります。一体型ヘルメットの場合、バイザー（シールド）の開閉によって大きな違いが生じます。安全な運転のために、速度レベルとヘルメットの種類が交通状況の認識にどのような影響を与えるか、またバイザー（シールド）を開閉する必要があるかどうかを検討してください。

15. 交換部品

警告！KYT 純正品以外の交換部品を使用すると、事故の際に重傷や死亡につながる危険性が高まります。本ヘルメット専用に設計された KYT 純正品のみをご使用ください。

16. ヘルメットの交換

警告！KYT ヘルメットは製品の長期使用を可能にする最適な素材で製造されていますが、いずれは交換が必要になります。次の場合は速やかにヘルメットを交換してください。

- 衝撃を受けた場合。ヘルメットは衝撃に「一度のみ」対応するように設計されています。衝撃により、アウトターシェルが破損したり、衝撃吸収ライナーが圧縮されたりする可能性があります。この損傷は目視では確認できない場合があります。

衝突や約 120 cm の高さからの落下によって衝撃を受けると、ヘルメットは損傷します。

- シェル、ライニング、または保持システム（あごひも）が損傷している場合。ヘルメットのシェル、衝撃吸収ライナー、保持システム（あごひも）は、乗員を最大限に保護できるように最適な状態である必要があります。たとえ損傷していなくても、ヘルメットは使用頻度に応じて 3 年～5 年で交換する必要があります。ヘルメットは、紫外線、接着剤、部品の劣化などにより時間の経過とともに損傷します。損傷したヘルメットを着用すると、事故の際に重傷や死亡につながる危険性が高まります。

17. ヘルメットの廃棄

警告！新しいヘルメットを購入したら、古いヘルメットは再利用しないで廃棄してください。たとえ破損していなくても、古いヘルメットを売却したり譲渡したりしないでください。ヘルメット内部の保護フォームは、時間が経つにつれて着用者の頭の形に馴染んでいきます。他の人がこのヘルメットを着用した場合、十分な保護が発揮されません。

18. 保証

KYT は、KYT のヘルメットをご購入されたお客様に対し、ヘルメットに材質および製造上の欠陥がないことを限定保証いたします。

19. 適用範囲

本保証は、製品を購入した日から 2 年間の保証期間における製造上の欠陥に対して適用されます。本保証は、着用者による誤用、過失、改造、事故などにより生じた不具合については適用されません。また、蛍光色の変色は、使用環境によって色褪せや劣化が生じる蛍光色の典型的な特性であるため、保証の対象外となります。

20. 免責事項

いかなる商品性の保証および黙示の保証も、ここで明示的に否認されます。さらに、KYT は結果的損害に対して一切の責任を負いかねます。

21. 手続き

保証を受ける際は、ヘルメットとともに、購入日を示すレシート、問題の説明とおお客様の氏名、電話番号を記載した簡単なメモを沿えて、ヘルメットを購入された正規 KYT ディーラーにお持ちください。

安全上の警告！

ダブルDリング保持システム（あごひも）－ 図 1

あごひもの端を2つのリングに通します。あごひもを顎の周りにしっかりとフィットするまで締めつけます。あごひもを締めた後、ヘルメットが脱げないことを必ず確認してください。ヘルメットの後頭部に両手を当て、前方へ回転させます。この際にヘルメットが脱げることなく、頭にしっかりと固定されていることを確認してください。

ヘルメットが脱げやすい場合や、ずれてしまうような場合は、頭に適度の圧力がかかるようになるまであごひもをしっかりと締めつけます。その後、装着感を何度か確認してください。

何度か繰り返しても保持システム（あごひも）を十分に締めることができない場合、そのヘルメットは使用しないでください。

あごひもをしっかりと調整できたら、あごひものベロ部にあるボタンをはめて固定してください。（図 1A）。

あごひものボタンは、走行中の端部のバタつきを防ぐためのものです。あごひもをボタンで固定したとしても、ヘルメットが正しく装着されていることが保証されるわけではありません。あごひもが正しく締まっているかどうかは、前述の手順によって十分に確認する必要があります。保持システム（あごひも）をはずすには、ボタンを外してからベロ部を引っ張ってあごひもを緩めます。あごひもの端部を「ダブルDリング」から抜き出して外します。ベロ部のロックを外すのはヘルメットを脱ぐ時のみにしてください。走行中は絶対にロックを外さないでください。保持システム（あごひも）が正しく機能しない場合は、そのヘルメットは使用せず、KYTの認定担当者にご連絡ください。

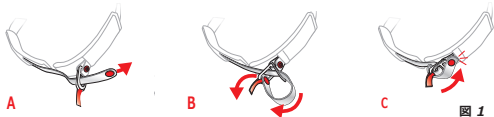
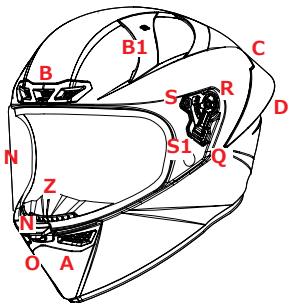


図 1



フロントエアインテーク (口元部分) - A - 図 2/3

ヘルメットの前部 (口元部分) から流入する空気は、エアインテークのスライド (A1) を以下のように調整することでコントロールできます。

口元部分のカーソルを下側にスライドさせてインテークを閉じます。カーソルを上側にスライドさせてインテークを開きます。

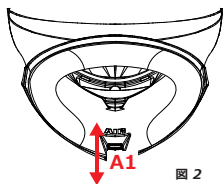


図 2

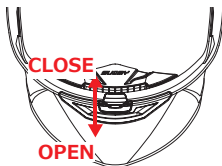


図 3

フロントエアインテーク - B - 図 4

ヘルメットの前部から流入する空気は、エアインテークの中央部分を以下のように調整することでコントロールできます。

- 図 4: 中央のカーソルを上側にスライドさせてエアインテークを閉じます。カーソルを下側にスライドさせてエアインテークを開きます。

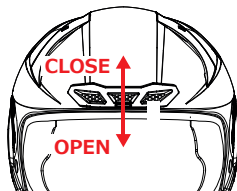


図 4

フロントサイドエアインテーク - B1 - 図 5

ヘルメットの側面から流入する空気は、インテークのカーソルを動かすことでコントロールできます。

- 図 5: カーソルを上側に動かしてエアインテークを開きます。カーソルを下側に動かしてエアインテークを閉じます。

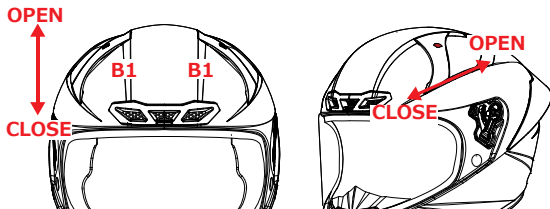


図 5

リアエアイベント - C - 図 6

革新的なリアエアインテークは、ヘルメット内部の換気をさらに改善するように設計されています。残留空気流のベンチュリー効果によりヘルメットの下方に負圧が生じることを利用して、ヘルメット内部の熱い空気を効率的に排出し、快適な温度を維持します。

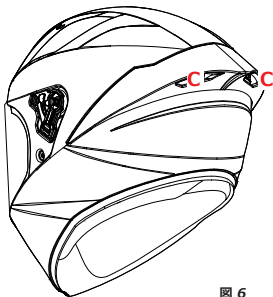


図 6

パッド - E - F - G

インナーパッドは、容易に取り外して洗浄または交換することができます。

内装センターパッド：インナーシェル - E - 図 7

組み立てと分解

インナーシェル (E) は 4 つの後方ボタン (F) でヘルメットに固定されています。

インナーパッドの取り外し

後方ボタン (F) をバチンと外して、インナーシェル (E) を取り外します。シェルの取り外しは慎重に行ってください。ボタンの硬い部分を押し、ボタン受けを傷つけないように注意しながら、ヘルメットのやや内側方向に引っ張ります。

注意：インナーライナーの損傷を避けるため、インナーシェルを取り外す前に、すべてのボタンが外れていることを確認してください。

組み立て

組み立てる方向を確認しながら、シェル (E) をヘルメットの内側に挿入します。ボタン (F) を留めます。インナーシェルを固定した後、シェルがヘルメット (ポリスチレンパッド) 内に正しく配置されていることを確認してください。

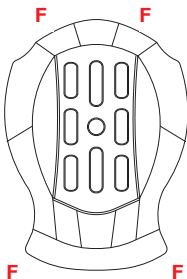
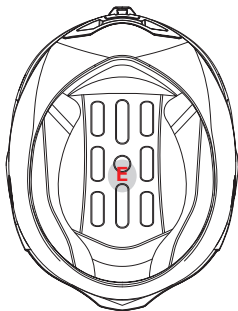


図 7

内装サイドパッド: チークパッド - G - 図 8

組み立てと分解

パッドの取り外し - 図 9

チークパッド (G) の前部をつかみ、ヘルメットの後方に向けて押した後、外側に引っ張って、すべてのボタンを外します。

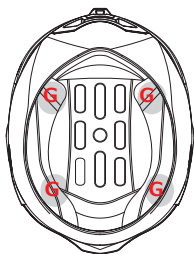


図 8

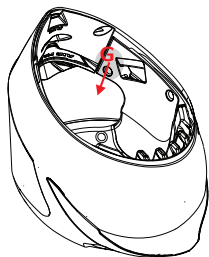


図 9

組み立て - 図 10

チークパッドを元の位置から上下逆さまにします。

固定フック (H) を赤色のフック受け (I) に差し込みます。

チークパッドの裏面部分を内張りの固定部分に当てます。あごひも (L) が適切なシート (M) に挿入されていることを確認します。チークパッドをヘルメット後部に押し込み、ボタンを留めます。

以下を確認して、部品が正しく組み立てられていることを確認します。

- チークパッドが所定の位置にしっかりと固定されていること。

- 組み立て時に、あごひもがチークパッドの穴部分にきちんと通っていること。

チークパッドが正しく組み立てられ、保持システム (あごひも) が正しく配置された場合にのみ、保持システムの有効性が確保されます。使用中は、ロックレバーが常にロック位置に固定されている必要があります。正しくロックできない場合は、そのヘルメットを使用しないでください。

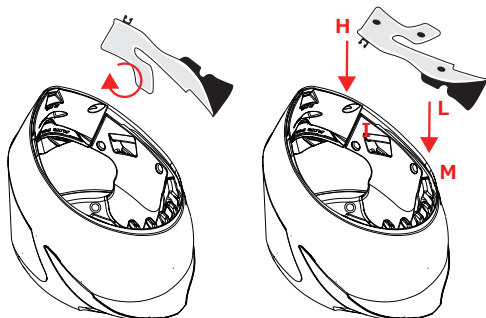


図 10

バイザー（シールド）－ N

バイザー（シールド）は定期的に清掃し、クリアな状態を常に保ってください。バイザー（シールド）に汚れやひどい傷がある場合、異常な光の反射や歪みが生じ、安全性が脅かされます。これらの問題が発生した場合は、直ちにバイザー（シールド）を交換してください。

操作方法－図 11

バイザー（シールド）は、開閉レバーを使用するだけで操作できます。他の物や箇所を使用してこじ開けないでください。不意に傷を付けたり、視界が悪化したりする原因となります。

バイザー（シールド）を開ける：レバー（O）を外側に軽く押すと、パッキンの下のシート（P）のタブのロックが解除されて、バイザー（シールド）が上がります。

バイザー（シールド）を閉じる：バイザー（シールド）を特定の位置にロックするには、パッキンのシート（P）内でタブがブロックされるまでバイザー（シールド）を下げます。

バイザー（シールド）には、全開と全閉の2つのロックポジションと5つの中間ポジションがあります。バイザー（シールド）はロックポジションになるまで完全に開閉する必要があります。バイザー（シールド）は、カチッという音がしてシートにはまっていれば、所定の位置に正しくロックされています。バイザー（シールド）をロックポジションから解除するには、前述の手順に従います。バイザー（シールド）のロックが解除されるまで、レバーを軽く押し込んでください。

走行中は、バイザー（シールド）を中間ポジションでは使用しないでください。常にロックポジションでロックされている必要があります。

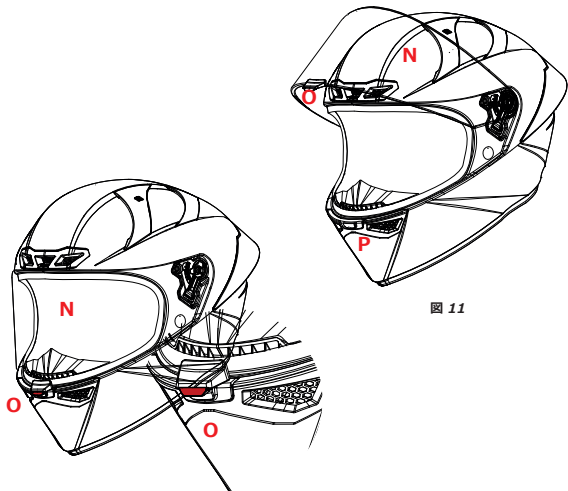
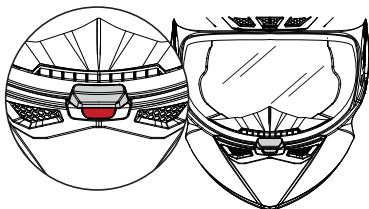
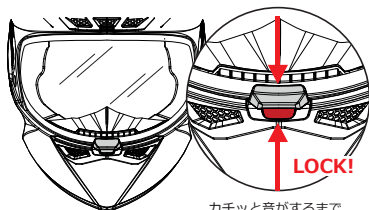


図 11

バイザー（シールド）が開いた状態および安全なポジション：



バイザーを下ろしただけの状態



カチッと音がするまで、
バイザーを軽く押し下げる

図 11A

バイザー（シールド）のロックを解除するには：赤いタブを顔に向けて押し込みながら、バイザー（シールド）を上を開きます。

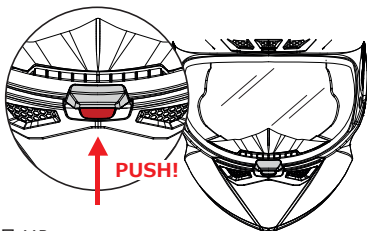


図 11B

バイザー（シールド）の取り外し — 図 12

バイザー（シールド）を完全に開きます。
 レバー（Q）をいっぱいまでスライドさせ、引っ張った状態を保ちます（Q）。
 バイザー（シールド）を少し広げながら回転させるようにしてピボットから外します。
 反対側も同じ手順を繰り返します。

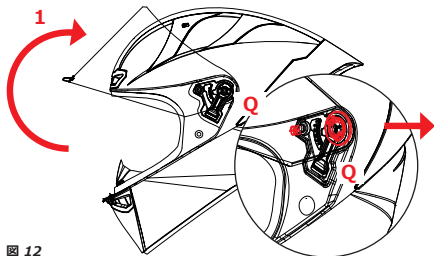


図 12

組み立て — 図 13

バイザー（シールド）の回転部が必ず適切に動作するようにするため、バイザー（シールド）を元の位置に再度取り付ける前に、すべての部品（ヘルメットのシート、可動部と接触するバイザー（シールド）の表面など）に汚れがないことを確認してください。

バイザー（シールド）を完全に開きます。回転シートが回転リングに挿入されるように、バイザー（シールド）をピボットに取り付けます。

- 1) レバー（Q）をいっぱいまでスライドさせます。
- 2) バイザー（シールド）を軽く押しながら、フックをバイザーピボットメカニズムのスロットにはめ込みます。

反対側も同じ手順を繰り返します。

メカニズムを取り付けたら、バイザー（シールド）がヘルメットにしっかりと固定されていること、開閉動作がスムーズであること、ロックポジションに正しくロックされていることを確認してください。

不具合がありバイザーピボットメカニズムが正常に動作しない場合は、ヘルメットの使用を中止し、KYTの認定担当者にご連絡ください。

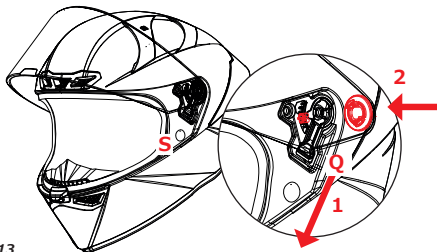


図 13

調整 — 図 14

部品を交換した後やヘルメットを長期間使用した後などには、バイザー（シールド）の密着度が低下し、バイザー（シールド）のメカニズムの調整が必要となる場合があります。

バイザー（シールド）を全開位置まで上げます。

前述の手順に従ってバイザー（シールド）を取り外します。

2本のネジ（RとS）を緩めます。ネジは外さないでください。また、メカニズムも分解しないでください。

メカニズム全体を水平に動かし、適切な位置でネジを締めつけます。

メカニズムの位置を動かす場合は、片側だけでなく、左右を同じように動かして調整してください。

調整したら、バイザー（シールド）がスムーズに閉じるか、またパッキンに密着しているかを確認してください。

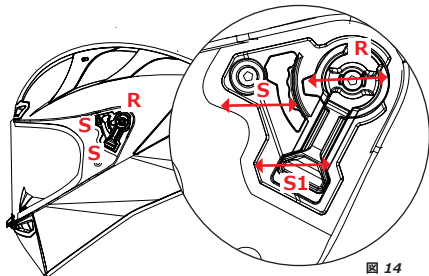


図 14

バイザーピボットメカニズム

交換 — 図 15

メカニズムの取り外し

前述の手順に従ってバイザー（シールド）を取り外した後、ネジ（R, S, S1）を緩めて外します。次に、シエルからメカニズムを取り外します。

バイザーピボットの取り付け：

バイザーピボットの形状は左右で異なります。必ず正しい側であることを確認してから取り付けてください。

バイザーピボットをシエルに取り付け、ネジを締めつけます。

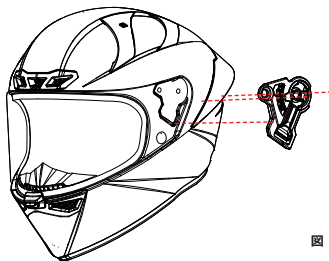


図 15

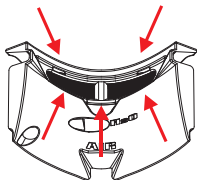
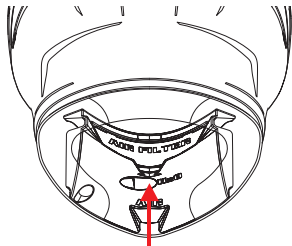
取り付け後、バイザーピボットが正しい位置にあり、シェルにしっかりと固定されていることを確認してください。次にバイザー（シールド）を取り付け、前述の手順に従って調整します。

メカニズムを取り付けたら、バイザー（シールド）がヘルメットにしっかりと固定されていること、開閉動作がスムーズであること、ロックポジションに正しくロックされていることを確認してください。

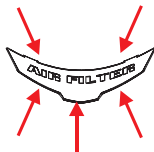
不具合がありバイザーピボットメカニズムが正常に動作しない場合は、ヘルメットの使用を中止し、KYTの認定担当者にご連絡ください。

エアフローのセッティング - エアインテーク（口元部分）

1 ヘルメットの口元内側部分のカバーを取り外します。この際、凹みを利用してください。

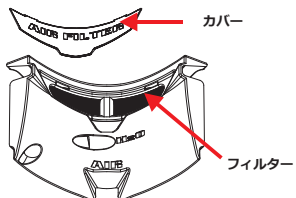


フック接続シート

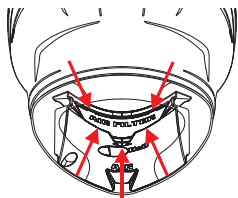


カバーのフック

2 空気の取り込み量を増やすには、ピンセットを使ってフィルターを取り外してください。その後、図に示すようにカバーを再度取り付けます。



3 フックのツメを適切にはめ込んでカバーを取り付けてください。カバーが口元部分にしっかりと掛かっていることを確認してください。



ノーズディフレクター - Z

取り外し - 図 16

ノーズディフレクターは、シェルとチンパーツライナーの隙間に差し込まれています。上方に引き抜くだけで外れます。

組み立て - 図 17

ノーズディフレクターをバイザー（シールド）開口部の中央に置き、ノーズディフレクターのタブをシェルとチンパーツライナーの隙間に差し込みます。ノーズディフレクターの下端がシェルの端部に完全に密着するまで、ノーズディフレクターのタブのある箇所を強く押します。

不具合があってノーズディフレクターがシェルの端部に密着しない場合、または正しい位置にこない場合は、ヘルメットの使用を中止し、KYT の認定担当者にご連絡ください。

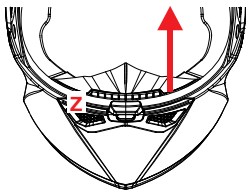


図 16

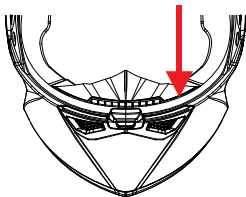
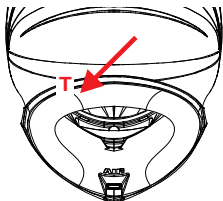


図 17

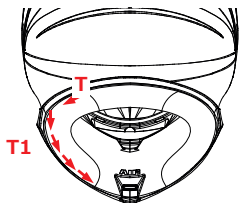
ハイドレーションシステム

1 ハイドレーションシステムにパイプを挿入します。



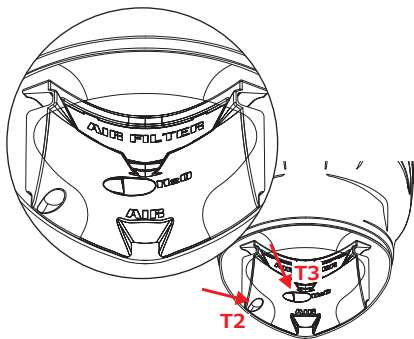
2 ヘルメットの下部に沿わせながら、パイプをチークパッドとヘルメット内部の間に挿入していきます。

ノズルを取り外したパイプをヘルメット左側下部、チークパッドの中の (T) に挿入します。ヘルメットの下部、チークパッドの中 (T1) に沿わせながら、パイプを挿入していきます。



3 パイプを取り付け位置 (T2) に差し込みます。

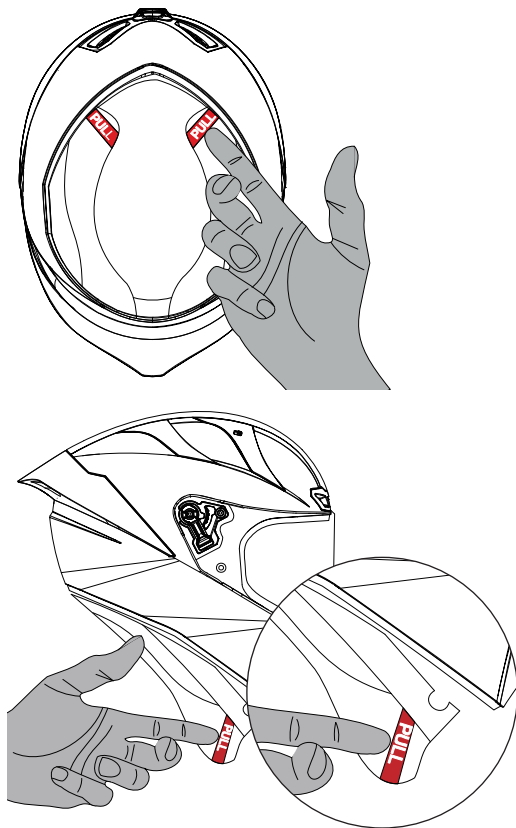
出口穴 (T3) からパイプを出し、適切な位置まで押し込んだら、パイプにノズルを取り付けます。



緊急時チークパッド取り外しシステム

チークパッドは、「PULL」タブの下に人差し指を入れ、手前に引っ張ると簡単に取り外すことができます。
反対側も同じ手順を繰り返します。

JA



日本総代理店

KYT JAPAN
株式会社 CORDA MOTO

〒438-0072 静岡県磐田市鳥之瀬 174-2

info@kytjapan.com

<https://www.kttjapan.com/>